

防災備蓄品に

液体ミルク導入せよ

答 備蓄品として
導入に向け取り組み



浦崎 みゆき



問 液体ミルクは、水が要らず、安全であり半年から1年間は備蓄可能である。哺乳ビンと合わせて導入出来ないか。

総務課長 早めの導入と備蓄量などを検討する。

防災タイムラインの作成を

問 本町のタイムライン(防災行動計画)は作成されているか。また各家庭へ「マイタイムライン」を推進する考えはあるか。

総務部長 必要性を認識しており、今後、町が作成するタイムラインと合わせ、各家庭でも作成できるように調査検討し、実現したい。



マイ・タイムラインで災害に備える(東京都)

認可外保育施設の質の向上対策は

問 幼児教育・保育の無償化では、認可外保育施設も対象である。認可外に対しては「巡回指導員」がおり役割は重大事故防止や助言・指導等だが、本町の体制はどうなるか。

副町長 県が設置主体となる「巡回指導員」の調査等に本町も立ち会い、連携し対応する。

宮平地内の側溝の維持管理を

問 宮平地内の側溝の詰まりを改善出来ないか。

副町長 清掃を行い必要に応じ改善に取り組む。

問 糸満市は圃場内の温度照度をスマホに知らせる通知システムの実証実験を開始している。温湿度管理の導入が可能になれば、農家の所得向上にもつながると考える。

cloud ONOKINAWA は農業以外にも、クラウドファンディングを活用した予算の確保等の様々なサービスを用意し支援している。現在は宮古島市、沖縄市、糸満市、石垣市、竹富町の5自治体であるが、本町も参画し地方創生に活用できればと考える。

cloud ONOKINAWA は、出来る限り税金に頼らずにクラウドの力を持って地域の活性を目指すとしている。内容も非常に幅広く、財政状況の厳しい本町においては、非常にメリットの多いプロジェクトだと思いが、どう考えるか。

産業振興課長 早速、提案のあった糸満市へ問い合わせをし情

温湿度管理システムの導入で農家支援を

答 IT活用で農業の課題解決ができるため導入と実証実験を検討していく。

報提供をいただいた。担当者としてcloud ONOKINAWAの手続について日程調整をする予定を入れている。前向きに検討し進めていきたい。



糸満市で実証実験が行われました



石垣 大志



QRコードを読み取ることで各議員の質問の様子を見ることができます。